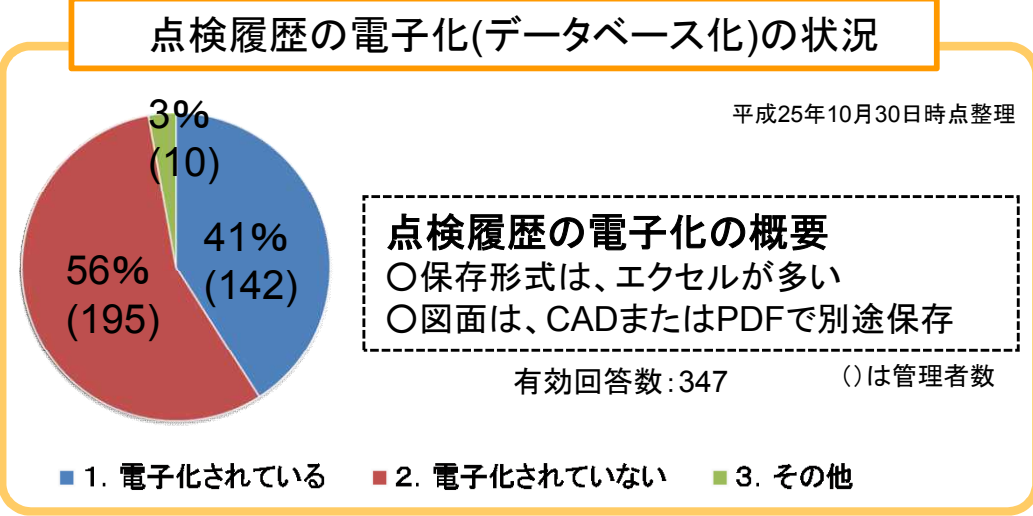
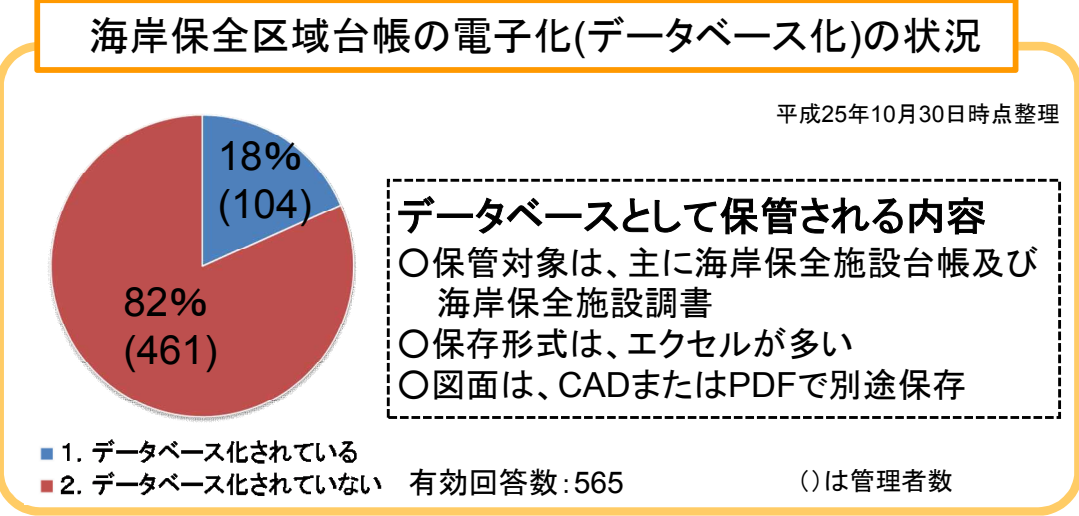


点検結果の記録・データベースの整備

電子化(データベース)状況

- ・海岸保全施設の維持管理に関するアンケート(平成25年10月)によると、海岸保全区域台帳等は、有効回答数(565回答)の2割が電子化(データベース)され、点検履歴は、有効回答数(347回答)の4割が電子化(データベース)されていた。
- ・電子化(データベース)の保存形式は、エクセルが多かった。

海岸保全施設の維持管理に関するアンケートの実施
実施時期:平成25年10月
対象:572の海岸管理者



点検・修繕結果の保存方法

- ・維持管理マニュアルでは、点検、修繕等の結果は基礎情報とともに保存・電子化することとしている。
- ・電子化は、海岸管理者の多くが点検結果の保存をエクセル形式で行っていることからエクセル形式を基本とする。
- ・エクセルの保存様式は、点検シートを基に海岸管理者の意見を踏まえて改良したものを提案予定。

【海岸保全施設維持管理マニュアルで示している保存方法】

記載項目(案)

海岸保全区域台帳の内容

- #### 海岸保全区域の基本情報
- 海岸保全区域に関する情報
 - 気象海象等の概況
 - 土地、水面、管理等の区域

- #### 海岸保全施設の情報
- 施設・工作物の諸元
 - 各施設の延長、基数
 - 平面図、横断図等



長寿命化計画を策定するために必要な基礎情報

- #### 点検・修繕、健全度の情報
- 点検時期、変状ランク
 - 修繕時期、修繕箇所、修繕方法
 - 健全度評価、健全度の履歴

様式(案)

The image shows a sample Excel spreadsheet for coastal protection facilities. It includes columns for facility name, location, and inspection status. Red callouts point to specific data points and diagrams. The diagrams show cross-sections of the facilities with labels for inspection points and repair locations.

活用した海岸管理者の意見収集

改良した保存様式(Excel)の提示

独自システムの構築事例

・高度な保存方法(データベース化)を目指す海岸管理者に対し、独自システムの構築事例を紹介。

	事例紹介1	事例紹介2
システムの構築目的	<ul style="list-style-type: none"> ・点検結果をデータベースに記録し管理することにより、点検結果の閲覧や引き継ぎを容易にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設諸元、点検・調査、補修履歴等の情報を登録・蓄積し、一元的に管理する ・蓄積した情報を活用し、維持補修計画の策定を支援する
システムの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「ライフサイクルマネジメントのための海岸保全施設維持管理マニュアル(平成20年)」及び管理者独自の老朽化調査及び老朽化対策計画策定マニュアルに基づく、点検結果の管理 ・点検結果(一次点検、二次点検)の検索抽出、入力の簡素化(写真取り込み機能あり)、変状数の集計等が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸管理者独自の維持管理ガイドライン、既存の「港湾漁港施設維持補修システム」に基づく、維持補修システム ・健全度評価、維持補修計画策定の支援、事後評価、点検結果出力、点検年度出力等が可能。
入力・保存データ	<ul style="list-style-type: none"> ・施設情報 ・点検結果(一次点検、二次点検)等 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設情報 ・点検結果 ・補修履歴の登録 ・その他台帳等の登録
出力形式	エクセル	エクセル
PC環境	MicroSoft Excel(2000以上) (必須) MicroSoft Access(2003以上) 必要メモリ200MB 程度	(クライアント環境) Oracle Client 10g MicroSoft Excel(2003,2007,2010) .NET FrameWork 2.0
システムを使用するメリット(工夫したポイント)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者に変更があった場合でも、引き継ぎが容易 ・過去の点検結果との比較が容易 ・点検結果はエクセルで出力でき、活用が容易 ・GISデータの活用により、点検実施場所を明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検結果を入力することで、維持補修計画(案)が策定される仕組みとしており、維持管理業務が効率化 ・劣化進行予測に用いる「遷移率」は、点検結果の蓄積による見直しが可能

事例紹介1

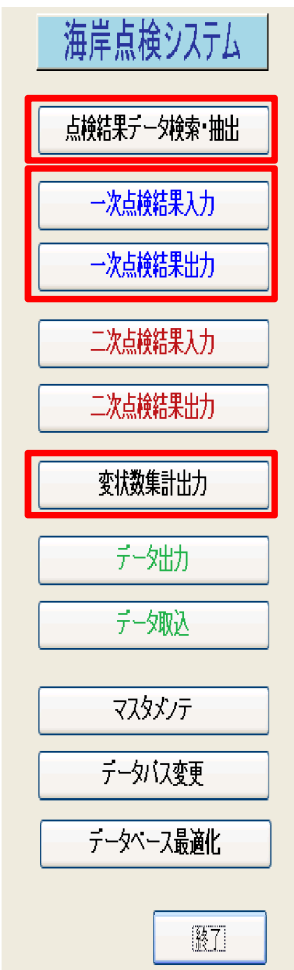
事例紹介1)主な機能

・点検結果(一次点検、二次点検)の検索抽出、点検結果入出力(写真取込み可能)、変状数の集計等が可能。

○参考マニュアル

- ①ライフサイクルマネジメントのための海岸保全施設維持管理マニュアル(案)
～堤防・護岸・胸壁の点検・診断～(平成20年2月)
- ②管理者独自のライフサイクルマネジメントのための老朽化調査及び老朽化対策計画策定マニュアル

○システムの機能



- ①
- ②
- ③

処理名	処理概要
点検結果データ検索・抽出	一次点検及び二次点検結果データを検索・抽出し、その内容をエクセル表へ出力します。
一次点検結果入力	一次点検結果の入力を行います。
一次点検結果出力	一次点検結果を出力します。 (一次点検結果記入シート・一次変状写真シート)
二次点検結果入力	二次点検結果の入力を行います。
二次点検結果出力	二次点検結果を出力します。 (二次点検結果記入シート・二次変状写真シート)
変状数集計出力	一次点検結果のスパン単位の変状数を集計出力します。 二次点検結果のスパン単位の変状結果を出力します。
データ出力	パソコンから入力したデータを出力します。 (複数のパソコンで入力したデータを結合する場合に使用します)
データ取込	データ出力で出力されたデータを取込みます。 (複数のパソコンで入力したデータを結合する場合に使用します)
マスタメンテ	各種マスタのメンテを行います。
データパス変更	当システムのデータ保存先を変更した場合に、その変更したパスを指定する場合に使用します。
データベース最適化	障害などによりデータベースファイルが開けなくなった場合に使用します。
終了及び ×(閉じる)ボタン	データベースのバックアップを行い、システムを終了します。

事例紹介1) ①点検結果の検索・抽出

- ・入力した点検データから、出力したいデータ及び出力項目を指定し、点検結果一覧表を作成。
- ・エクセルでの印刷、保存が可能。

○点検結果検索・抽出フォーム

【検索条件】

点検の種類(一次、二次)、点検年度、市町村名、海岸名、地区名、施設種類、点検回数・・・等

出力データの範囲指定

出力項目の選択

○点検結果抽出画面

【出力項目】

点検年度、各コード、市町村名、海岸名、地区名、住所、連絡先、延長・・・等

抽出データは、
エクセルでの印刷、保存が可能

事例紹介1) ②一次点検結果の入力・出力

- ・点検結果入力フォームに従い、入力(写真取り込み可能)。
- ・点検結果は、印刷、エクセルでの出力が可能。

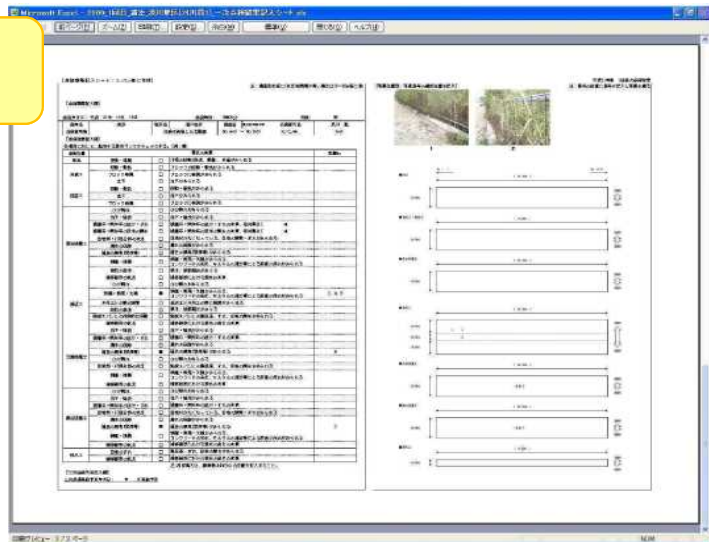
○点検結果入力フォーム

【点検概要】

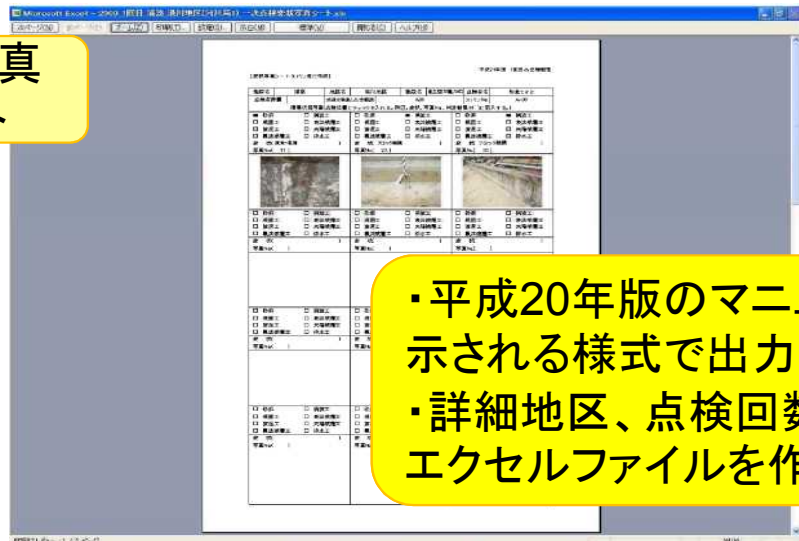
点検年度、点検回数、市町村名、海岸名、地区名、施設種類、スパンNo.、点検者情報、実施全範囲、点検日時、点検箇所・・・等

○点検結果出力画面

点検結果 記入シート



変状写真 シート



- ・平成20年版のマニュアルで示される様式で出力
- ・詳細地区、点検回数ごとにエクセルファイルを作成

【点検結果】
点検位置、変状の有無、
変状の寸法等、写真(最大20枚)

事例紹介1) ②二次点検結果の入力・出力

- ・点検結果入力フォームに従い、入力(写真取り込み可能)。
- ・点検結果は、印刷、エクセルでの出力が可能。

○点検結果入力フォーム

【点検概要】
 点検年度、点検回数、市町村名、海岸名、地区名、施設種類、スパンNo.、点検者情報、実施全範囲、点検日時、点検箇所、健全度評価結果・・・等

【点検結果】
 点検位置、変状現象、点検結果、計測寸法、写真(最大20枚)

○点検結果出力画面

点検結果
 記入シート

変状写真
 シート

- ・平成20年版のマニュアルで示される様式で出力
- ・詳細地区、点検回数ごとにエクセルファイルを作成

事例紹介1) ③変状数集計出力

・検索条件を設定し、点検データ(一次点検もしくは二次点検)を検索し、表示可能。

○変状数集計出力フォーム

【検索条件】
出力対象の点検種類(一次、二次)、点検年度、市町村名、海岸名、地区名、詳細地区名、点検回数・・・等

検索条件の設定

出力データの範囲指定

変状数集計出力画面 : フォーム

変状数集計出力

出力対象 一次点検 二次点検

年度 年

市町村 詳細

海岸 点検回数 回

地区

出力範囲の開始行と終了行を選択し、開始または終了ボタンを押して下さい。
※1行のみ出力する場合は、開始と終了の両方を選択して下さい。

開始

終了

市町村	海岸	地区	詳細地区	回数	選択
▶ 浦添市	浦添	港川地区	港川地区(河川局1)	3	
○○市	○○	○○地区	○○地区	2	
○○市	○○○	○○地区	○○地区	2	
○○市	○○	○○地区	○○地区	1	
○○市	○○	○○地区	○○地区	1	
○○市	○○○	○○地区	○○地区	1	
○○○市	○○○	○○地区	○○地区	1	
○○○市	○○○	○○地区	○○地区	1	
○○○市	○○○	○○地区	○○地区	1	
○○○町	○○○	○○地区	○○地区	1	
○町		地区	地区	1	

事例紹介1) ③変状数集計出力

- 各点検部(表法被覆工等)の変状箇所を記録し、各断面毎に集計。
- 印刷及びエクセルでの出力が可能。

スパン延長ごとの点検結果

点検項目

点検位置

変状の種類

スパン延長ごとの変状数

海岸・地区名

点検位置

H24年度(1回目)一次点検結果

点検位置	変状の種類	〇〇海岸 〇〇地区																総計					
		断面種																					
スパン延長(m)		A-01	A-02	A-03	A-04	B-01	B-02	B-03	B-04	B-05	B-06	B-07	B-08	C-01	C-02	D-01	D-02	E-01	E-02	E-03	E-04		
砂浜	侵食・堆積	2	1	1	1																		
消波工	移動・散乱																						
根固工	沈下																						
表法被覆工	ひび割れ																		2				
	沈下・陥没																						
	被覆石・間知石の抜け・ずれ									2													
	被覆石・間知石の目地の開き									1													
	目地部・打継ぎ部の状況																						
	漏水の痕跡																						
	植生の異常(繁茂等)					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	剥離・損傷					1						4	2							2			
	鉄筋の腐食																						
	補修箇所																						
波返工	ひび割れ																						
	剥離・剥落・欠損																						
	本体工との間の隙間																						
	鉄筋の腐食																						
天端被覆工	隣接スパンとの相対的な移動																						
	補修箇所																						
	沈下・陥没		1		1																1	1	1
	被覆石・間知石の抜け・ずれ													2	2						1	1	1
天端被覆工	漏水の痕跡																						
	植生の異常(繁茂等)					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	ひび割れ	1	1					3															
	目地部・打継ぎ部の状況																						
表法被覆工	剥離・損傷																						
	補修箇所					1	1																
	ひび割れ																						
	沈下・陥没																						
表法被覆工	被覆石・間知石の抜け・ずれ																						
	目地部・打継ぎ部の状況																						
	漏水の痕跡																						
	植生の異常(繁茂等)					2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
排水工	剥離・損傷																						
	補修箇所																						
	目地のずれ																						
	補修箇所																						
合計		3	3	2	6	5	6	3	3	8	11	6	3	10	7	3	3	11	14	9	2	118	
うち赤字		3	3	1	2	2	3			5	8	5		9	5	2	2	9	11	7	2	79	
				1	1						3				2	2			1	1	1	12	

二次点検

過去に比べ変状数の増加等、老朽化の進行がある断面について、二次点検の選定対象にする

点検位置	変状の種類	〇〇海岸 〇〇地区				
		A	B	C	D	E
砂浜	侵食・堆積	c				
消波工	移動・散乱及び沈下					
根固工	ブロック破損					
	移動・散乱及び沈下					
表法被覆工	ひび割れ					b
	沈下・陥没					
	(水位の影響を受けやすいH.W.L.未満)					
	被覆石・間知石の抜け・ずれ					
	(水位の影響を受けやすいH.W.L.以上)					
目地部・打継ぎ部の状況					d	
波返工	剥離・損傷					
	鉄筋の腐食					
	ひび割れ					b
天端被覆工	目地の開き相対移動量					d
	本体工との間の隙間					
	剥離・剥落・欠損					
	鉄筋の腐食					
表法被覆工	ひび割れ					b
	沈下・陥没					a+
	被覆石・間知石の抜け・ずれ					
表法被覆工	目地部・打継ぎ部の状況					d
	剥離・損傷					
	ひび割れ					
排水工	沈下・陥没					
	被覆石・間知石の抜け・ずれ					
排水工	目地の開き相対移動量					
変状数		4	4	3	2	7
網掛け部分	a+	1	1	2	0	2
	b	1	1	0	1	2
	c	1	0	0	0	0
	d	1	1	1	1	3
計	4	3	3	2	7	
網掛け以外の部分	a	0	1	0	0	0
	b	0	0	0	0	0
	c	0	0	0	0	0
	d	0	0	0	0	0
計	0	1	0	0	0	
変状現象がランクの割合		25%	25%	0%	50%	29%
健全度評価結果		A	A	A	C	A

各点検部毎の変状規模を判定(a, b, c, d)し、当該断面の健全度を総合的に評価(A, B, C, D)。

事例紹介1)その他関連事項(GISデータの保存)

- ・古い時期の海岸保全施設、海岸保全区域ほか、二次点検を実施した海岸の構造物の天端高の位置情報を確認。
- ・データ形式は、bds形式。
- ・GIS化は、デジタル化した平面図がベース。現地踏査も実施。

○GISデータ内容

対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物 海岸保全施設(整備年度不明も含む)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸保全区域 ・ 港湾区域 ・ 漁港区域
〇〇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天端高情報 二次点検を実施した 30 海岸における構造物の天端高
出典資料	港湾施設：港湾台帳、港湾計画平面図、竣工図面等 漁港施設：漁港台帳、漁港計画平面図等 海岸施設：海岸保全施設台帳、海岸施設平面図、竣工図面等 天端高：簡易水準測量を実施しデータを取得

データ化手順

位置の把握	デジタル化された港湾平面図、漁港平面図、海岸平面図をGIS化した。 また、デジタル化されていないものについては、構造物を含む平面図をスキャニングし、航空写真や都市計画基図との位置を合わせて座標を与えた。 *世界測地系の平面直角座標系 15 系、16 系
ラインデータの作成	GIS 上で構造物の海側(または河道側)の法線を抽出もしくはトレースしラインデータとした。
データ補正	レーザー測量成果、イコノス画像、航空写真を重ねて構造物の最新の情報を確認して、データを補正した。
現地踏査	施設の現況を確認した。

○GISデータイメージ



事例紹介2

事例紹介2)主な機能

・点検結果の出入力の他、点検年度出力、海岸絞り込み、健全度評価、維持補修計画策定、事後評価等が可能。

○参考マニュアル

既存の「港湾漁港施設維持補修システム」



管理者独自の海岸保全施設維持管理
ガイドラインに基づき、機能を追加

○システムの機能



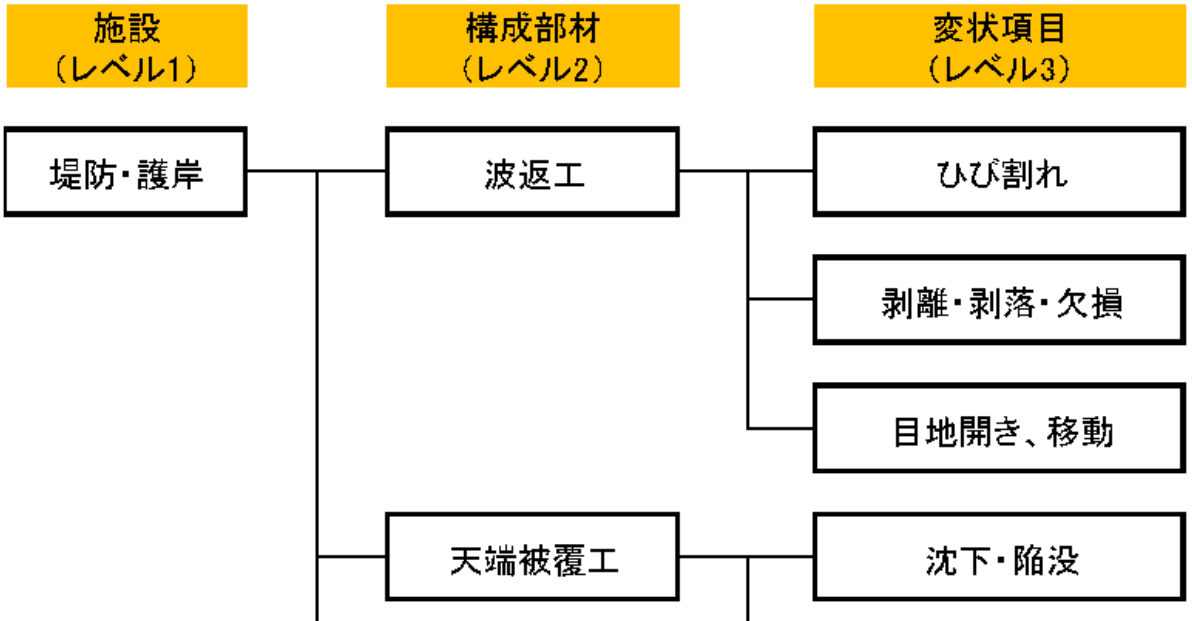
健全度評価機能	...	①
維持補修計画策定機能	...	②
事後評価機能		
維持補修計画出力機能		
点検結果出力機能	...	③
点検年度出力機能	...	④
海岸絞り込み機能 港湾海岸と建設海岸の区分け		
施設情報入力機能		
諸元情報入力		
建設海岸点検結果整理システム		
点検結果入力		

事例紹介2)①健全度評価機能(1/2)

- ・入力データは、部材の変状に対する劣化度ランク。
- ・海岸管理者独自の維持管理ガイドラインに基づき、1スパン毎にA,B,C,Dランクの4段階で総合評価。
- ・施設の総合評価は、全スパンで最も悪い総合評価(A~B)を反映。

○入力データ

・施設の構成部材ごとの、変状に対する劣化度ランク



・・・劣化度ランク(a~d)

⋮

判定	部位・部材の損傷・劣化状態のイメージ
a	部材の性能が著しく低下している状態。
b	部材の性能が低下している状態
c	部材の性能低下はないが、変状が発生している状態
d	変状が認められない状態

○健全度評価方法

表 2.1.1 施設健全度と評価点の関係式

$$\text{施設健全度} = \sum (\text{判定結果 a~d} \times \text{重み係数})$$

判定結果評価点 : d=100、c=70、b=40、a=0

総合評価	判定基準	
A	判定結果に a が 1 つでもある場合	悪い
B	判定結果に b が 1 つでもある場合	↑
C	判定結果に c が 1 つでもある場合	↑
D	判定結果がすべて d の場合	↑ 良い

※評価点は見直し可能

事例紹介2)①健全度評価機能(2/2)

・各施設の健全度の一覧と健全度評価の詳細の確認が可能。

○健全度評価画面 健全度一覧表

【出力項目】
海岸名、施設種別、
施設番号、点検種別、
最新調査年度、健全度

健全度詳細

海岸名	施設種別	施設番号	名称	点検種別	最新調査年度	健全度
○○	防波堤	42001B-1-7G	護岸堤①	防波堤	2012	A
○○	防波堤	42001B-3-4G	○○防波堤(C)	海岸保	2011	A
○○	物揚場	42001C-6-3G	○物揚場	重力式係船岸	2011	A
○○	護岸	42004B-5-16	○○護岸A	海岸保	2011	A
○○	護岸	42004B-5-31	○○護岸B	海岸保	2011	A
○○	護岸	42004B-5-32	○○護岸D	海岸保	2011	A
○○	護岸	42004B-5-34	○○護岸E	海岸保	2011	A
○○	護岸	42006B-5-10	○○護岸B	海岸保	2011	A
○○	護岸	42006B-5-11	○○護岸C	海岸保	2011	A
○○	護岸	42006B-5-14	○○護岸F	海岸保	2011	A
○○	護岸	42006B-5-20	○○○護岸A	海岸保	2011	A
○○	護岸	42006B-5-26	○○護岸B	海岸保	2011	A
○○	護岸	42006B-5-30	○○○○護岸B	海岸保	2011	A
○○	護岸	42006B-5-31	○○○○護岸C	海岸保	2011	A
○○	護岸	42006B-5-7	○○護岸A	海岸保	2011	A
○○	護岸	42006B-5-88	○○護岸D	海岸保	2011	A
○○	突堤	42006B-7-7	○○○○斜路	海岸保	2011	A
○○	護岸	42007B-5-13	○○○護岸	海岸保	2011	A
○○	護岸	42007B-5-1	護岸(A)	海岸保	2011	A

レベル1 目的	レベル2 大分類	レベル3 小分類	レベル4 項目	重み 係数	判定	評価 点	健全度
海岸保全施設の健全度	波退工 0.24	ひび割れ 0.36	ひび割れ 1.00	1.00	a	0	0
		剥離・剥落・欠損 0.64	剥離・剥落・欠損 1.00	0.15	c	70	10
		目地開き、移動	目地開き、移動				
	天端被覆工 0.10	沈下・陥没 0.56	沈下・陥没 1.00	0.06	d	100	6
		ひび割れ 0.14	ひび割れ 1.00	0.01	d	100	1
		目地・打継部異常 0.15	目地・打継部異常 1.00	0.02	d	100	2
		剥離・損傷 0.15	剥離・損傷 1.00	0.02	d	100	2
	表法被覆工 0.28	ひび割れ 0.13	ひび割れ 1.00	0.04	c	70	3
		沈下・陥没	沈下・陥没	0.04	d	100	4

事例紹介2)②維持補修計画策定

・管理者独自の維持管理ガイドラインに基づき、維持補修計画を策定。

○策定方法

・海岸管理者独自の維持管理ガイドラインに基づき、以下を踏まえた維持補修計画を策定。

- ・健全度評価
- ・点検結果に基づく劣化進行予測
- ・社会的影響度
- ・整備優先度
- ・**総合判断基準**
- ・維持補修費用
- ・対策時期の調整(平準化)

○維持補修計画一覧出力画面

【出力項目】

管轄、海岸種類、海岸名、地区名、施設番号、施設名、利用種別、施設種別、構造形式、施工年、延長、スパン数、整備優先度1、整備優先度2、健全度評価、社会的影響度・・・等

管轄	海岸種類	海岸名	地区名	施設番号	施設名	利用種別	施設種別	構造形式	施工年(西暦)	延長(m)	スパン数	整備優先度1	整備優先度2	健全度評価	社会的影響度	点検年
〇〇	港湾	〇〇		B-5-58	〇〇〇〇 護岸B	その他	護岸	(外部)その他	1982	927	46	1	0	A	I	806
〇〇	港湾	〇〇		B-5-89	〇〇〇〇 護岸A	その他	護岸	(外部)直立式	0	589	30	2	0	A	I	479
〇〇	港湾	〇〇		B-3-2	〇〇〇〇 防波堤(8)	その他	防波堤	(外部)斜板式	1972	373	1	3	0	A	I	373
〇〇	港湾	〇〇		B-5-55	〇〇〇〇 護岸A	その他	護岸	(外部)その他	1988	880	34	4	0	A	I	329
〇〇	港湾	〇〇		B-5-9		その他	護岸	(外部)斜板式	1995	824	32	5	0	A	I	209
〇〇	港湾	〇〇		B-5-2	〇〇〇〇 護岸B	その他	護岸	(外部)斜板式	1984	488	26	6	0	A	I	281
〇〇	港湾	〇〇		B-5-2	〇〇〇〇 護岸B	その他	護岸	(外部)直立式	1984	243	20	7	0	A	I	248
〇〇	港湾	〇〇		B-5-12	〇〇〇〇 護岸	その他	護岸	(外部)直立式	0	810	41	8	0	A	I	178
〇〇	港湾	〇〇		B-5-1	〇〇〇〇 護岸	その他	護岸	(外部)斜板式	1985	613	16	9	0	A	I	163
〇〇	港湾	〇〇		B-5-57	〇〇〇〇 護岸A	その他	護岸	(外部)直立式	1978	337	17	10	0	A	I	159
〇〇	港湾	〇〇		B-5-23	〇〇〇〇 護岸	その他	護岸	(外部)拱橋式	1978	187	13	11	0	A	I	144
〇〇	港湾	〇〇		B-5-1	〇〇〇〇 護岸A	その他	護岸	(外部)直立式	1984	747	50	12	0	A	I	134
〇〇	港湾	〇〇		B-5-23		その他	護岸	(外部)直立式	0	289	27	13	0	A	I	124
〇〇	港湾	〇〇		B-5-6	〇〇〇〇 護岸(1)	その他	護岸	(外部)直立式	1977	242	2	14	0	A	I	121
〇〇	港湾	〇〇		B-5-92	〇〇〇〇 護岸Q	その他	護岸	(外部)直立式	1988	246	14	15	0	A	I	114
〇〇	港湾	〇〇		B-5-16	〇〇〇〇 護岸	その他	護岸	(外部)拱橋式	1986	585	43	16	0	A	I	110
〇〇	港湾	〇〇		D-5-54	〇〇〇〇 護岸F	その他	護岸	(外部)直立式	1985	558	36	17	0	A	I	108
〇〇〇	港湾	〇〇〇		B-5-3	〇〇〇〇 護岸(C)	その他	護岸	(外部)その他	0	546	65	18	0	A	I	101
〇〇	港湾	〇〇		B-5-56	〇〇〇〇 護岸E	その他	護岸	(外部)拱橋式	1988	358	16	19	0	A	I	100
〇〇	港湾	〇〇		D-5-98	〇〇〇〇 護岸G	その他	護岸	(外部)拱橋式	1989	820	16	20	0	A	I	100

項目	内容
整備効果 (複数選択可) [0.2]	①機能消失による被害規模が比較的大きいと想定される。[25]
	②施設の背後(500m程度内)に重要な防護対象(病院、学校、役所、福祉施設など)がある。[25]
	③施設の背後(500m程度内)に住宅地が密集している。[25]
	④施設の背後(500m程度内)に主要な道路(バスなどの公共機関が使用する道路、緊急輸送道路)がある。[25]
	⑤施設の背後(500m程度内)には、特に重要な施設はない。[0]
過去の被災履歴 [0.1]	⑥過去に被災歴がある。[100]
	⑦過去に被災歴がない。[0]
地元からの要望 [0.2]	⑧施設整備に対して、地元からの要望がある。[100]
	⑨施設整備に対して、地元からの要望は出ていない。[0]
予算枠 [0.1]	⑩施設整備の予算枠が、5,000万円以上ある。[100]
	⑪施設整備の予算枠が、5,000万円未満である。[0]
埋立計画 [0.4]	⑫施設前面に埋立計画がある。[0]
	⑬施設前面に埋立計画がない。[100]

事例紹介2)③点検結果出力機能

・点検結果は、現場持参用点検シートとして出力可能(エクセル形式)。

○点検結果出力例

点検位置 変状の種類 変状・損傷等のランク

点検結果(スパンごと)

【現場持参用点検シート】

- ・点検情報欄(海岸名、海岸地区名、施設名、点検者所属、点検者氏名、スパン数)
- ・前回の点検結果の併記。

海岸名	〇〇	地区名	〇〇	施設名	〇〇
点検者所属	〇〇	点検者氏名	〇〇	氏名	〇

点検年月日: 2011年 11月 10日 天候: 晴 曇 雨 雪

点検位置	変状	変状・損傷等のランク				点検結果											
		a+またはa	b	c	d	SP1	SP2	SP3	SP4	SP5	SP6	SP7	SP8	SP9	SP10	SP11	SP12
施設名	〇〇					a	a	a	c	b	b	b	b	b	b	b	b
	目地の腐食、指形移動量					a	a	c	a	a	a	a	a	a	a	a	a
	目地の腐食					a	a	c	a	a	a	a	a	a	a	a	a
	目地の腐食					a	a	c	a	a	a	a	a	a	a	a	a
天橋梁	〇〇					a	a	a	c	b	b	b	b	b	b	b	b
	目地の腐食、指形移動量					a	a	c	a	a	a	a	a	a	a	a	a
	目地の腐食					a	a	c	a	a	a	a	a	a	a	a	a
	目地の腐食					a	a	c	a	a	a	a	a	a	a	a	a

a+ランク	7	箇所
aランク	0	箇所
bランク	1	箇所 (1%)
cランク	7	箇所
dランク	89	箇所
計	104	箇所

スパン No.1

a /

事例紹介2)④点検年度出力機能

・点検実績年度が一覧できる機能あり。

○点検実施年度の一覧

【出力項目】
 管轄、海岸種類、海岸名、地区名、施設番号、施設名、
 利用種別、施設種別、構造形式、最新点検年度、点検年度

管轄	海岸種類	海岸名	地区名	施設番号	施設名	利用種別	施設種別	構造形式	最新点検年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	
〇〇	遊歩海岸	〇〇		B-5-10	〇〇護岸	その他	護岸	(外部)舗	2011													A	A	
〇〇	遊歩海岸	〇〇		B-5-11	〇〇護岸	その他	護岸	(外部)舗	2012															石積
〇〇	遊歩海岸	〇〇		B-5-12	〇〇護岸1	その他	護岸	(外部)そ	2011														B	
〇〇	遊歩海岸	〇〇		B-5-13	〇〇護岸2	その他	護岸	(外部)そ	2011														A	
〇〇	遊歩海岸	〇〇	〇〇	B-5-15	〇〇護岸3	その他	護岸	(外部)舗	2012															石積
〇〇	遊歩海岸	〇〇		B-5-1	〇〇護岸	その他	護岸	(外部)舗	2012															B
〇〇	遊歩海岸	〇〇		B-5-2	〇〇護岸	その他	護岸	(外部)舗	2011															石積
〇〇	遊歩海岸	〇〇		B-5-3	〇〇護岸	その他	護岸	(外部)直	2011															石積

点検年度毎の総合評価結果